

○同窓会の経過

青葉会会長 富川 孝恭

昭和四十五年五月二十三日、同窓会幹事総会が母校で開催され、名簿作成、同窓会名称問題、新役員選出など諸議決がなされて以来、実に七年間、同窓会活動は「諸般の事情」により空白状態のまま、昭和五十一年を迎えました。

新役員

この間母校の発展は著しく、旧校舎は体育館を併設して跡形もなく取り除かれ、旧若葉会館跡にはこれが学校かと思ふ程モダンな新校舎が出現いたしました。旧校舎に卒んだ卒業生としては喜んでいいのかもしれませんが、複雑な心境でありますが、この間になつたわけではあります。

新校舎落成

この間母校の発展は著しく、旧校舎は体育館を併設して跡形もなく取り除かれ、旧若葉会館跡にはこれが学校かと思ふ程モダンな新校舎が出現いたしました。旧校舎に卒んだ卒業生としては喜んでいいのかもしれませんが、複雑な心境でありますが、この間になつたわけではあります。

会則改正

この校舎落成記念を契機として同窓会顧問の石関力太郎、高橋百合子両先生の御尽力により、旧同窓会役員の方々が「招集され、昭和五十四年に予定される定時制発足五十周年に向けて、休眠状態の同窓会を「役員再編成」および「活動の活性化」を要請されたのであります。

これを契機として同窓会幹事総会を開催し、会則の一部改正を行い、新役員を選出、同窓会名称を決定して、昭和五十四年の定時制発足五十周年総会開催にむけて活動を開始したのであります。

恩師の思い出

恩師の勤

永年に行き同窓会にお力添えをいただいた音楽の鈴木清太郎先生が昭和五十一年三月、お亡くなりになりました。真に悲しい出来事で、ここに

謹んで先生の御冥福を祈念いたします。また顧問の高橋百合子先生が昭和五十三年三月母校を退職された。永年に亘る御指導御助言に感謝申し上げます。

修学旅行

都立南高等学校 佐藤 和男

もう昔のことになつてしまふ。私が三田高校に在職したのは、昭和二十六年四月から三十八年三月までの二年間です。あの頃習い覚えたことが、現在の生活に大いに役立っています。初めて教壇に立つた頃は、まだ戦後の混乱期が終つていない、日本全体が経済的に苦しんでいる時代でした。そういう時代に

修学旅行

もう昔のことになつてしまふ。私が三田高校に在職したのは、昭和二十六年四月から三十八年三月までの二年間です。あの頃習い覚えたことが、現在の生活に大いに役立っています。初めて教壇に立つた頃は、まだ戦後の混乱期が終つていない、日本全体が経済的に苦しんでいる時代でした。そういう時代に

修学旅行

もう昔のことになつてしまふ。私が三田高校に在職したのは、昭和二十六年四月から三十八年三月までの二年間です。あの頃習い覚えたことが、現在の生活に大いに役立っています。初めて教壇に立つた頃は、まだ戦後の混乱期が終つていない、日本全体が経済的に苦しんでいる時代でした。そういう時代に

修学旅行

もう昔のことになつてしまふ。私が三田高校に在職したのは、昭和二十六年四月から三十八年三月までの二年間です。あの頃習い覚えたことが、現在の生活に大いに役立っています。初めて教壇に立つた頃は、まだ戦後の混乱期が終つていない、日本全体が経済的に苦しんでいる時代でした。そういう時代に

給食優良校

演劇部門の優勝

都立城南高等学校 尾本 清

創立五十周年を心よりお祝い申し上げます。小生は、現在までの教員生活の三分の一を三田で過ごし、且つまた、定時制勤務の二つの三田で送りました。

給食優良校

小生の在任中、何と云つても一番の思い出は、給食優良校としての表彰、定時制文化祭での演劇部門の最優秀校になったことです。前者は、広瀬先生を始め、給食に従事された方々の大きな努力であり、後者は生徒諸君のたまごころの努力こそがその勝利を導き得たと思ふ。

給食優良校

小生の在任中、何と云つても一番の思い出は、給食優良校としての表彰、定時制文化祭での演劇部門の最優秀校になったことです。前者は、広瀬先生を始め、給食に従事された方々の大きな努力であり、後者は生徒諸君のたまごころの努力こそがその勝利を導き得たと思ふ。

給食優良校

小生の在任中、何と云つても一番の思い出は、給食優良校としての表彰、定時制文化祭での演劇部門の最優秀校になったことです。前者は、広瀬先生を始め、給食に従事された方々の大きな努力であり、後者は生徒諸君のたまごころの努力こそがその勝利を導き得たと思ふ。

給食優良校

小生の在任中、何と云つても一番の思い出は、給食優良校としての表彰、定時制文化祭での演劇部門の最優秀校になったことです。前者は、広瀬先生を始め、給食に従事された方々の大きな努力であり、後者は生徒諸君のたまごころの努力こそがその勝利を導き得たと思ふ。

学舎の思い出はつきない

昭和19年卒 中村 幸子

三田の一部(定時制)が創立五十周年を来迎するにあたり、流れる歳月の早さに驚いておりました。

戦火の中で、私が入学したのは昭和十五年、当時は学科試験の他面接試験もあり、最後の受験番号五九五番の私は夕暮れの果て、講堂で待つ順番の長、心細かったことを今でもよく覚えております。

学舎の思い出はつきない

戦火の中で、私が入学したのは昭和十五年、当時は学科試験の他面接試験もあり、最後の受験番号五九五番の私は夕暮れの果て、講堂で待つ順番の長、心細かったことを今でもよく覚えております。

学舎の思い出はつきない

戦火の中で、私が入学したのは昭和十五年、当時は学科試験の他面接試験もあり、最後の受験番号五九五番の私は夕暮れの果て、講堂で待つ順番の長、心細かったことを今でもよく覚えております。

学舎の思い出はつきない

戦火の中で、私が入学したのは昭和十五年、当時は学科試験の他面接試験もあり、最後の受験番号五九五番の私は夕暮れの果て、講堂で待つ順番の長、心細かったことを今でもよく覚えております。

学舎の思い出はつきない

戦火の中で、私が入学したのは昭和十五年、当時は学科試験の他面接試験もあり、最後の受験番号五九五番の私は夕暮れの果て、講堂で待つ順番の長、心細かったことを今でもよく覚えております。

白流会のこと

昭和34年卒 荒井 信之

昭和34年卒の荒井信之は、白流会という会に所属しています。この会は、卒業生が集まり、交流を深め、互いに支え合つていくための組織です。

昭和34年卒の荒井信之は、白流会という会に所属しています。この会は、卒業生が集まり、交流を深め、互いに支え合つていくための組織です。

白流会のこと

昭和34年卒の荒井信之は、白流会という会に所属しています。この会は、卒業生が集まり、交流を深め、互いに支え合つていくための組織です。

白流会のこと

昭和34年卒の荒井信之は、白流会という会に所属しています。この会は、卒業生が集まり、交流を深め、互いに支え合つていくための組織です。

白流会のこと

昭和34年卒の荒井信之は、白流会という会に所属しています。この会は、卒業生が集まり、交流を深め、互いに支え合つていくための組織です。

白流会のこと

昭和34年卒の荒井信之は、白流会という会に所属しています。この会は、卒業生が集まり、交流を深め、互いに支え合つていくための組織です。

秋風の吹く頃

昭和42年卒 渡辺 孝夫

秋の風が吹く。懐かしい思い出が甦る。母校の情景が目に浮かぶ。あの頃、私たちは青春を謳歌した。あの頃、私たちは夢を追い求めた。

秋の風が吹く。懐かしい思い出が甦る。母校の情景が目に浮かぶ。あの頃、私たちは青春を謳歌した。あの頃、私たちは夢を追い求めた。

秋風の吹く頃

秋の風が吹く。懐かしい思い出が甦る。母校の情景が目に浮かぶ。あの頃、私たちは青春を謳歌した。あの頃、私たちは夢を追い求めた。

秋風の吹く頃

秋の風が吹く。懐かしい思い出が甦る。母校の情景が目に浮かぶ。あの頃、私たちは青春を謳歌した。あの頃、私たちは夢を追い求めた。

秋風の吹く頃

秋の風が吹く。懐かしい思い出が甦る。母校の情景が目に浮かぶ。あの頃、私たちは青春を謳歌した。あの頃、私たちは夢を追い求めた。

秋風の吹く頃

秋の風が吹く。懐かしい思い出が甦る。母校の情景が目に浮かぶ。あの頃、私たちは青春を謳歌した。あの頃、私たちは夢を追い求めた。

会員の皆様へ

五十周年記念募金

一口 一千元

一口以上幾口でも結構です。送金は振替用紙をお使い下さい。なお、一口以上応募された方には会員名簿(有料)一冊を贈呈いたします。(来年)

会員の皆様へ

一口以上幾口でも結構です。送金は振替用紙をお使い下さい。なお、一口以上応募された方には会員名簿(有料)一冊を贈呈いたします。(来年)

会員の皆様へ

一口以上幾口でも結構です。送金は振替用紙をお使い下さい。なお、一口以上応募された方には会員名簿(有料)一冊を贈呈いたします。(来年)

会員の皆様へ

一口以上幾口でも結構です。送金は振替用紙をお使い下さい。なお、一口以上応募された方には会員名簿(有料)一冊を贈呈いたします。(来年)

会員の皆様へ

一口以上幾口でも結構です。送金は振替用紙をお使い下さい。なお、一口以上応募された方には会員名簿(有料)一冊を贈呈いたします。(来年)